

単施設研究用

研究課題名「当院の胆膵腫瘍におけるがん遺伝子パネル検査の実状を明らかにし、新たな治療戦略の策定を目指す研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2019年6月1日から2021年11月30日までに当院でCGP検査を行った胆膵腫瘍症例

2. 研究目的・方法・研究期間

包括的がんゲノムプロファイリング検査、いわゆるがん遺伝子パネル検査（以下、CGP検査、と言います。）が、2019年6月に保険適用となりました。さらに、2021年8月には血液検体を用いたがん遺伝子パネル検査が保険適用となっています。我が国でもCGP検査数が増加するものと思われませんが、CGP検査の結果、新たな治療薬に辿りついた患者さんは10%前後と報告されており、新たな治療法に到達できる患者は少ないのが現状です。

膵癌、胆道癌はいまだ難治性癌とされており、残念ながら切除が不能であったり、再発を来したりする患者さんが多いため、CGP検査を受ける患者さんが多い癌種です。我々の病院では、初診時切除不能と判断された症例に対しても集学的治療の後に切除を行うconversion surgery(CS)も積極的に行っております。しかしながら、保険上、検査のタイミングが制限されていることから、周術期の集学的治療にCGP検査を利用することは難しいのが実状です。

まず、当院で行われた胆膵腫瘍におけるCGP検査の現状および検査を受けた患者さんの状態をカルテから把握し、周術期の集学的治療にCGP検査を利用するなど、CGP検査を加味した新たな胆膵腫瘍の治療戦略開発を目指します。

研究期間は、2022年01月11日（実施承認日）～2030年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CGP検査を受けた患者さんの性別、年齢などの「基本情報」、詳細な癌の局在、提出した検体の採取部位などの「がんの情報」、CGP検査を受ける前に行われた治療やその有害事象などの「治療歴」、CGP検査で判明した遺伝子異常やマイクロサテライト安定性などの情報を収集させていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二 病院助教・栗本景介

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL：052-744-2249

FAX：052-744-2252

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授・小寺泰弘